

「大田スポーツサミット 2017」へ出席



公益財団法人大田区体育協会 創立 70 周年記念事業として、7 月 15 日（土）に大田区民プラザにて「大田スポーツサミット 2017」が開催されました。日本バトン協会杉浦理事長は、2020 年オリンピック・パラリンピックに関わることを視野に入れ、多くのスポーツ団体へバトントワーリングの理解を深めたく出席しました。

第 1 部は、2004 年アテネオリンピック、2008 年北京オリンピックの柔道女子 63 kg 級 2 大会連続金メダル受賞の谷本歩実氏の「夢を叶える思考力」～何事も“実現”する～の基調講演が行われました。初めに谷本氏のオリンピックで行われた全試合の映像が、ゆずの「栄光の架橋」の音楽と共に映されました。苦しみながらも「一本背負い投げ」で全ての試合に勝ち進んでいく姿と、情感あふれる音楽が相まって、多くの聴講者の気持ちを高めました。講演では、選手として試合に勝つための心構え、また柔道指導者である古賀先生からうけた印象深かった指導を、5つのポイントに絞りお話されました。1) 考える“くせ”を身につける 2) “夢”が自分を支える 3) “勝つオーラ”をだす 4) 自分で頭のなかを“コントロール”する 5) “感謝”の気持ちをもつ。言葉として書き出しても素晴らしい内容ですが、オリンピックに 2 度連続金メダルを受賞されたかたのお話は、大変に説得力があり心を動かされます。

第 2 部は、オリンピック・パラリンピックまであと 3 年～あなたなら何をしますか？～のシンポジウムが行われました。コーディネーターは野川春夫氏（大田区体育協会理事長）、シンポジストは山崎一彦氏（（公団）日本陸上競技連盟 強化委員会ディレクター）、田口亜希氏（アテネ 2004・北京 2008 パラリンピック射撃入賞）、一言太郎氏（スポーツ庁参事官（地域振興担当）補佐、谷本歩実氏（コマツ柔道部助監督）の顔ぶれで大変有意義なディスカッションが展開されました。山崎氏は陸上競技者の様々な統計を示され、世界の陸上競技の傾向を話されました。田口氏は、パラリンピックの認知度は上がってきてはいるが、実際に競技を観戦したことのある人は大変少ないので、多くの方に会場にきて応援をしていただきたいと話されました。一言氏は、行政の立場から「スポーツ振興基本計画」のお話と大田区の取り組みに関しての意見を述べられました。

「大田スポーツサミット 2017」終了後、野川氏、谷本氏、大田区スポーツ推進委員競技会 松原会長へミニバトンと日本バトン協会概要をお渡しし、バトントワーリングへの理解を深めていただきました。掲載の写真は、ミニバトンをもった谷本歩実氏と杉浦理事長です。